【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成19年8月23日(2007.8.23)

【公開番号】特開2006-22062(P2006-22062A)
【公開日】平成18年1月26日(2006.1.26)
【年通号数】公開・登録公報2006-004
【出願番号】特願2004-202757(P2004-202757)
【国際特許分類】
Ａ０１Ｎ　63/00　　(2006.01)
Ａ０１Ｈ　 1/00　　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ０１Ｎ　63/00　　Ａ
Ａ０１Ｈ　 1/00　　ＺＮＡＡ
Ｃ１２Ｎ　15/00　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成19年7月9日(2007.7.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
熱ショックタンパク質をコードする核酸を有効成分として含有し、更に光合成の制御に関与するタンパク質・酵素、植物体のサイズを制御するタンパク質・酵素、根の伸展を促進するタンパク質・酵素、植物体の成長を促進するタンパク質・酵素、RNAの安定性を向上させるタンパク質・酵素からなる群から選択される一以上のタンパク質をコードする核酸又はそのアンチセンス配列からなる核酸を含む成長促進剤。
【請求項２】
熱ショックタンパク質が、DnaKタンパク質又はHSP70タンパク質であることを特徴とする、請求項１記載の成長促進剤。
【請求項３】
前記DnaKタンパク質が、耐塩性ラン藻のDnaKタンパク質であることを特徴とする、請求項２に記載の成長促進剤。
【請求項４】
下記(a)～(d)のアミノ酸配列を含むタンパク質をコードする核酸を有効成分として含有し、更に光合成の制御に関与するタンパク質・酵素、植物体のサイズを制御するタンパク質・酵素、根の伸展を促進するタンパク質・酵素、植物体の成長を促進するタンパク質・酵素、RNAの安定性を向上させるタンパク質・酵素からなる群から選択される一以上のタンパク質をコードする核酸又はそのアンチセンス配列からなる核酸を含む成長促進剤。
(a)配列番号２記載のアミノ酸配列中、アミノ酸番号1～721からなるアミノ酸配列
(b)配列番号２記載のアミノ酸配列中、アミノ酸番号116～721からなるアミノ酸配列
(c)配列番号２記載のアミノ酸配列中、アミノ酸番号164～721からなるアミノ酸配列
(d)(a)～(c)の配列に１又は数個のアミノ酸の置換、欠失、挿入又は転位を有するアミノ酸配列
【請求項５】
核酸がデオキシリボ核酸であることを特徴とする請求項１乃至４何れか一項記載の成長促

進剤。
【請求項６】
熱ショックタンパク質をコードする核酸と、光合成の制御に関与するタンパク質・酵素、植物体のサイズを制御するタンパク質・酵素、根の伸展を促進するタンパク質・酵素、植物体の成長を促進するタンパク質・酵素、RNAの安定性を向上させるタンパク質・酵素からなる群から選択される一以上のタンパク質をコードする核酸又はそのアンチセンス配列からなる核酸とを含む組成物の成長促進剤としての使用。
【請求項７】
DnaKタンパク質又はHSP70タンパク質をコードする核酸と、光合成の制御に関与するタンパク質・酵素、植物体のサイズを制御するタンパク質・酵素、根の伸展を促進するタンパク質・酵素、植物体の成長を促進するタンパク質・酵素、RNAの安定性を向上させるタンパク質・酵素からなる群から選択される一以上のタンパク質をコードする核酸又はそのアンチセンス配列からなる核酸とを含む組成物の、成長促進剤としての使用。
【請求項８】
前記DnaKタンパク質が、耐塩性ラン藻のDnaKタンパク質であることを特徴とする、請求項７に記載の使用。
【請求項９】
下記(a)～(d)のアミノ酸配列を含むタンパク質をコードする核酸と、光合成の制御に関与するタンパク質・酵素、植物体のサイズを制御するタンパク質・酵素、根の伸展を促進するタンパク質・酵素、植物体の成長を促進するタンパク質・酵素、RNAの安定性を向上させるタンパク質・酵素からなる群から選択される一以上のタンパク質をコードする核酸又はそのアンチセンス配列からなる核酸とを含む組成物の、成長促進剤としての使用。
(a)配列番号２記載のアミノ酸配列中、アミノ酸番号1～721からなるアミノ酸配列
(b)配列番号２記載のアミノ酸配列中、アミノ酸番号116～721からなるアミノ酸配列
(c)配列番号２記載のアミノ酸配列中、アミノ酸番号164～721からなるアミノ酸配列
(d)(a)～(c)の配列に１又は数個のアミノ酸の置換、欠失、挿入又は転位を有するアミノ酸配列
【請求項１０】
熱ショックタンパク質をコードする核酸を、植物細胞内のゲノムに導入し、前記核酸を導入したゲノムを含む植物細胞を生育させることを特徴とする植物の成長促進方法。